

HelloWorld を 完全理解!

HelloWorldって何だろう?というところから、記述のルールとリソースの意味を一気に理解していこう!

Androidアプリの基礎はHello Worldから

前章で、Androidアプリを作成するための環境が一通り準備できました。ここからは、いよいよプログラミングに入ります。

新しいプログラミング言語やプラットフォームを初めて学ぶ際に、プログラミングの世界では伝統的にHello Worldという題材がよく用いられます。“Hello, world!”という簡単な文章を出力するプログラムを記述することで、その言語を最もシンプルに表現して、学ぶ手がかりにしようというわけです。もともとは、C言語の解説書で今では古典にもなっているカーニハン&リッチーの名著“プログラミング言

語C - The C Programming Language”（筆者も20年ぐらい前にこれを読んでC言語を学びました…懐かしいです）で記載されたのが最初であると言われています。

Hello Worldは、その後のさまざまな書籍や講習で、C言語以外にLispやProlog, Javaなど、多種多様な言語を学ぶ際の最初の例題としてよく用いられています。例えば、このプログラムをC言語やLisp, Javaで記述すると表1のようになります。言語によって、かなり特徴が出ていますね。

とはいっても、注意深く見ると文字列の出力関数(メソッド)の作法と呼び出し方が違うだけで、本質はそれほど大きく変わらないと分かるでしょう。

これは、上記の例がテキスト・ベ

スで使用するCUI(キャラクタ・ユーザ・インターフェース)を前提としたプログラムであることもあります。

純粋に言語の特徴だけを記述しているのでシンプルなのです。

VisualBasicや、MFC、X Window SystemのようにGUI(グラフィカル・ユーザ・インターフェース)のプラットフォームを使ってHello Worldを表現すると、また違った記述になります。ここではAndroidの解説から外れるので詳しくは述べませんが、興味のある方は調べてみてください。

Androidも基本的にGUIベースのプラットフォームなので、そのHello Worldも一風変わった結果になります。表1の言語の例に比べて、一見複雑なような、それでいてあっけないような…。百聞は一見にしかずです。実際にAndroidのHello Worldを作成して、アプリ作成の初歩を学んでいきましょう。

プロジェクトの新規作成

それでは、早速 Android の流儀で、Hello World を作成してみましょう。Androidアプリの作成では、アプリをプロジェクトという単位で管理して開発します。そのため、開発で一番最初に必要な作業が、プロジェクトの作成です。

まず、Eclipseを起動してください。Eclipseのメニューの“File”から“New”を選択し、その中の2番目にあ

表1 各プログラミング言語で書くHelloWorld!

C言語
<pre>int main(int argc, char **argv){ printf("Hello, world!\n"); }</pre>
Lisp
<pre>(print "Hello, world!")</pre>
Java
<pre>public class HelloWorld { public static void main (String[] args) { System.out.println("Hello, World!"); } }</pre>